

# 子どもをばぐむいじめ0の集い

## 一人一人がチャンピオン



命の尊さについて語る石原智子さん

いじめ問題を切り口に子どもの健全育成について考え、社会全体でいじめの根絶に取り組もうと「子どもをばぐむいじめ0の集い」が10月28日、青少年センターで開催され、市内小中学校の教職員や保護者、地域関係者ら約160人が参加しました。

集いでは「いじめをなくすポスター」の表彰式のほか、広島被爆者援護会の石原智子副理事長による「両親からいただいた命を生きぬくということ」と題した講演が行われました。石原さんは、優しさとは、相手の気持ちになれるかどうか、人の優しさに気が

付けるかどうかであるとし、「どんな小さなことでもいいので、周囲のために自分のできることを見つけてほしい。子どもたちは一人一人みんながチャンピオンであり、両親からいただいた尊い命に感謝して生き抜いてほしい」と呼び掛けました。

お問い合わせは、(教)学校  
教育課 ☎ 948 6599・FAX 934  
1815へ

# 募集 環境年賀状



平成25年1月7日(必着)

(昨年度最優秀作品)

地球環境への思いを絵や言葉で表現した年賀状(はがき)を募集します。入賞者には表彰式(平成25年3月24日環境フェア)で記念品を贈呈します。

【募集内容】「地球への年賀状」あなたの地球環境に対する思いをテーマにした作品

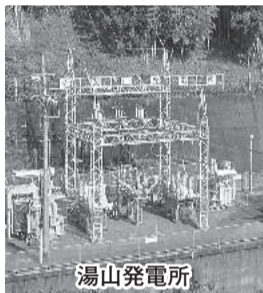
【申し込み】平成25年1月7日(月)(必着)までに、直接また

は郵送で年賀状(はがき)の表面に住所、氏名、年齢、電話番号を、裏面に作品を書いて、〒790 8571 環境事業推進課(市役所別館4階)へ

※応募作品の著作権・使用権は市に帰属し、返却しません

お問い合わせは、環境事業推進課 ☎ 948 6434・FAX 934 1861へ

# 「誇れる」地域の宝 湯山編 ~まちのいいところ~



湯山発電所

市の東部に位置する人口8177人、3029世帯(11月1日現在)の湯山地区。湯山の名の通り源泉が多く、市内中心部からも比較的近いことから、昭和30年代には奥道後温泉の開発や企業の保養所・ホテルなどが整備され、40年代以降は住宅団地の開発に伴い、人口が急増しました。

地区を走る国道317

このダムは昭和48年に完成し現在、本市のおよそ半分の水を賄う大切な水源です。溝辺町には、上水道の約半分の水を給水する市之井浄水場があり、敷地内に設けられた市水道資料館「水と人のみらい館」では、上水道の仕組みや歴史が楽しく



宿野町にあるタケノコ発祥の地の碑

学べます。

食場町の石手川沿いには、明治36年に建設された四国初の水力発電所・湯山発電所があります。現在は無人化され、自動運転されています。

また当地区は県内でも有数のタケノコの産地としても有名で、毎年4月下旬にはタケノコ掘り大会が開かれ、大勢の人でにぎわっています。

## 県内有数のタケノコの産地

号線は、平成9年に水ヶ峠トンネルが開通し、今治市・しまなみ海道に続く大動脈となっています。今春には市道小野3号線が開通し、市南東部と北部を結ぶ新しい交通の動脈にもなっています。



地区の課題を話す参加者

10月26日開催・湯山中学校体育館・参加者57人

地区の方の声

- ・四国の水力発電や、湯山タケノコの発祥の地としても有名です

・農産物の宣伝・PRを、全国や海外に向けてできないか

・小野3号線が開通して朝晩の交通量が増えて危ないの

で、交差点付近の対策を願

いしたい

・通学路の点検結果を踏まえて、どういう対策が取られるのか

※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します

参加者募集

第37回II粟井地区

【日時】平成25年1月25日(金)

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎ 948 6383・FAX 934 3157へ

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 natsuyama@city.matsuyama.ehime.jp または 粟井公民館へ

## 市総合計画審議会が答申

市総合計画審議会・矢田部龍一会長(写真左)らが10月31日に市役所を訪れ、第6次松山市総合計画基本構想(素案)の答申を行いました。答申書を受け取った野志市長は「前向きな発想を持って市民の皆さんとともに、たくさんの笑顔があふれるまちにしたい」と話しました。



## 道後温泉の活性化に向けて

道後温泉本館の改修や道後地区の活性化などについて話し合う市道後温泉活性化計画審議会の第3回会合が、10月31日に市役所で開催されました。会では、本館修復時の受け皿となる代替施設の方針決定および活性化を図る魅力の向上策が話し合われ、12月中旬の次回会合で結論を取りまとめる予定です。



## 第1回松山駅周辺まちづくり審議会を開催

松山駅周辺地区のまちづくりについて有識者や関係事業者、市民団体代表らで話し合う「松山駅周辺まちづくり審議会」が11月7日、市役所で開催されました。初会合では、委員が3班に分かれて車両基地の跡地利用をワークショップ方式で協議。平成25年度中に基本構想をまとめ、野志市長に答申する予定です。

## 宮城県南三陸町長が謝意

東日本大震災直後から職員派遣や物資提供などの交流がある宮城県南三陸町の佐藤仁町長(写真左)が11月5日、市役所を訪れ、「支援いただいた給水車などが大活躍しています」と謝意を表しました。野志市長が復興状況を尋ねると、佐藤町長は「水産業は活気がありますが、商業の立ち直りが課題です」と話しました。



# 市政スポーツ